

□主人公の優斗の住む地域に昔から続く「コト八日行事」のお話です。私は最初、(行事について第一印象)

だと思いました。

私なら

するだろう / しないうだろう と思いました。

□優斗は最初は「コト八日行事」に積極的ではありませんでした。やりたくないのに無理やりさせるのは /

私も優斗のように参加したくないと思いました / みんながやるのだから協力すべき / 一人で別行動とるのは /

□少しずつ「コト八日行事」に真剣に取り組む優斗を見て、

と思いました。

□私も【最初は面倒くさくても最後までやった経験・大変だったけど全力で取り組んだ出来事】

①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように /

どのくらい・なぜ / どうして ③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか

ということがありました。

そのこと / 経験 から、(はじめてはやる気が出なくても～ / 実際にやってみた達成感・満足感は～ /

みんなと協力することで～ / 最後までやりとげたことで～) だと思いました / という気持ちがわかります。

□私が一番好きな / 共感した / 気に入った / 気になった 登場人物は、○○○○

です。

なところが、好きになりました / 共感できました / 興味がありました。

もし、私が○○○○の友だち / 知り合い / 家族 だったとしたら、

だと思いました / 考えました / 感じました。

□もし、私が優斗や柚月たちと一緒に「コト八日行事」をするとしたら、

だと思いました / 考えました / 感じました。

□この本 / 物語 を読む前、私が考える 神様 / 疫病神 / 昔からの行事 のイメージ / 印象 は、

です。

□この本 / 物語 を読んで、神様 / 疫病神 / 昔からの行事 のイメージ / 印象 が、

に変わりました。

□私は地域に残る古い行事 / 地域の人たちに守られている神様・決まりごと は、

ということをはじめて知りました / 真剣に考えました。

□私は高橋さん / 宇希のおじいさんの話を聞いて、流行病と闘った昔の人は～ / 何度も繰り返す流行病は～ /

悲しい出来事はくりかえし起きて～ / 病気と人間の戦いは～

だと思いました / 考えました / 感じました。

□私が一番うれしかった / 感動した / 心に残った / 印象的だった / 忘れられない 場面 / 出来事は、  
です。

私は だと思いました。

□はじめは神様の存在を信じられなかった優斗が神頼みをしたくなる気持ちが とてもわかります / 少しだけ  
わかる気がします / まったくわかりません / ピンときません。 なぜなら、 のときに  
だからです。

そのとき 私は だと思いました / 考えました / 感じました。

□今まで、地域の神様 / 疫病神 / 古い行事の重要性 / 災い について深く考えたことがありませんでした。

今は、 ではないかと思いました / 考えました / 感じました。

この問題は（コロナがはやった今の / これからを生きる / 歴史を忘れないために） 私たちにとって  
だと思いました / 考えました / 感じました。

□ケガをしてしまった凌さんに代わって頭取代理をする優斗を見て、  
だと思いました / 考えました / 感じました。

もし、私が急に頭取代理をすることになったら、  
だと思いました / 考えました / 感じました。

□私も【誰かの代理・ピンチヒッターで頑張った出来事 / 困った人を助けるために協力した体験】

①状況の説明 ②行動 ③状況 / 心の変化 ということがありました。

そのこと / 経験 から、（困った人は放っておけない / できないと決めつけずに少しでも考える / 一人で解決は  
できなくてもみんなで力を合わせれば / 少しでも助けたいと思ったなら後悔しないように） と思いました。

□私たちも優斗たちもコロナによって生活が大きく変わってしまいました。私は / 私なら  
だと思いました / 考えました / 感じました。

□私は、この本 / 物語 を読んで、（自分には関係がない・興味がないと思わずに見る・聞くことの大切さ /  
古い行事にも意味があり、人々の生活に根付くものは / みんなで協力することで達成できることがあって /  
コロナ禍の中でもできることを見つけて / 制限のある中でも前向きに考えて / 自分の可能性を決めつけずに  
成長できました / 考えを深めることができました。

これからは、 だと思いました。